

レイアウト：縦書き
 余白：上下 31mm 左 28mm 右 27mm
 フォントサイズ 10.5pt 文字数 40字 行数 34行
 「標準」スタイルは行間固定値 20pt
 体裁－文字の配置：中央揃え

文字色「白」
 蛍光ペンの色「黒」

古文・漢文プリント

MS ゴシック
 14pt

次の古文の勉強をしましょう。

今は昔、竹取の翁おきなといふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろずのことに使ひけり。名をば、讚岐の造となむ言ひける。その竹の中に、本光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光たり。

竹取物語より

「けり」は伝承の回想を表す助動詞。
 「なむ」は強く指示する係助詞。それを受ける述語は連体形で結ぶ。係り結びという。
 「たり」は完了の助動詞。

古文の文章 左インデント 2字
 行間固定値 30pt
 体裁－文字の配置：中央揃え

古文の中の①②③④
 フォントサイズ 7pt
 文字位置上げる 6pt

古文の注釈 テキストボックス使用
 フォント 9pt ぶら下げ 1字
 行間固定値 12pt
 テキストボックスと文字列の間隔は上が 5mm

「ホーム」→「段落：拡張書式」→「縦中横」

① ②の言葉の意味を書きましょう。

② ③の読みを書きましょう。

次の漢文の勉強をしましょう。

「挿入」→「図：図形」→「基本図形」→「大かっこ」

子曰いはク「学ンデ而ニ時フ習レ之コレヲ、不ズ亦また説よつこほしカラ一ヤ乎ヤ。有リ朋とも自より遠ニ方タル来タル、不ニ亦シカラ樂一乎。人①不レ知シテ而レ不レ慍いきてほラ、不レ亦シ君くん子シナラ乎ト。

論語 学而より

「、」は文字間隔狭く 6pt

普通の□の文字「しかく」で変換すると出てくる行間固定値 10pt

①の書き下し文を書きましょう。

□の適切な場所に返り点を付けなさい。

文字は「来」「上」「空白」の順で並んでいる。「、」に対して「文字間隔」を「狭く 12pt」とすると、文字幅が 0 になる

漢文用に 3つの段落スタイルを定義
 ルビ：左インデント 2字 フォントサイズ 6pt 行間固定値 8pt
 漢字：左インデント 2字 フォントサイズ 12pt 行間固定値 12pt
 体裁－文字の配置：中央揃え
 行間用：左インデント 2字 フォントサイズ 12pt 行間固定値 18pt
 返り点用に文字スタイルを定義
 フォントサイズ 6pt 文字位置下げる 3pt

古文と漢文の本文は「新訂 国語 I 教育出版株式会社 昭和 60年 1月 20日発行」より引用